

Vision 4 持続可能な社会実現のために実践し、
発信する大学生協

Action Plan Sustainability

Goal 15 各大学生協で、あらゆる事業・活動を通じて、
脱炭素や脱プラスチック、食品ロスの削減などの取り組みを進め、
持続可能な循環型社会づくりに貢献できている。

- 事業活動において、使用エネルギーの削減や再生可能エネルギーの活用など、二酸化炭素排出量半減に向けた取り組みを開始します。
- 使い捨てプラスチック製品の削減、代替製品の活用（マイボトル持参者へのサービス提供他）など脱プラスチックに向けた取り組みを推進します。
- 組合員の理解を広げながら食品ロスの削減に取り組みます。
- 食に関わる事業分野において、地産地消とともに、環境に配慮した事業・商品・サービスの提供を強化します。
- 大学、自治体、企業、他の協同組合、NPO 等と連携した事業や環境活動などの諸活動を通じて、組合員が社会とつながり、コミュニティ形成を進め、社会の循環を学ぶ場を作り、持続可能な地域社会の活性化に貢献します。



リ・リパック弁当容器回収
宮崎大学生協



Goal 16 事業や活動を通じて消費者教育を進め、
組合員の成長を促せる環境ができている。

- 組合員とともに、事業を通じてエシカルな消費行動を推進し、消費者市民社会、持続可能な社会の実現を目指します。
- 組合員活動を通じて持続可能な社会の実現について考える機会を作り、組合員が「自らの参加によって社会を変えることができる・良くなることできる」と実感できる場を増やし、社会の変化を牽引する生活者の創造力を育みます。



エシカル消費店頭野菜販売
静岡文化芸術大学生協



Goal 17 さまざまな構造的暴力がなく、個人の尊厳が守られ、
戦争のない平和な社会を目指す活動に積極的に取り組んでいる。

- 大学生活でのいかなるハラスメントも見逃さず、一人ひとりの組合員が生き生きと大学生活を送り、留学生をはじめ国籍・人種・民族・宗教などさまざまなアイデンティティを持つ人々との交流・友好活動を発展させる取り組みを、それぞれの大学生協で進めます。
- 「平和とより良い生活のために」「学消の歴史を繰り返すな」「未来ハ我等のものな里（賀川豊彦書原文のママ）」のスローガンを継承し、大学生協の戦前からの歴史とともに、現在から未来に向けた平和の大切さを学びます。
- 核兵器廃絶を目指して、「知る、知らせる、考え、話し合う」ことを大切に「ピースナウ」などの大学生協の平和活動を広げて、平和を希求し、行動する組合員を増やします。



未来ハ我等のものな里
賀川豊彦書



Vision 5 大学に頼りにされるパートナーであり続ける大学生協

Action Plan Partner

Goal 18 日本の大学における福利厚生事業の担い手として、
トップランナー、コーディネーターとしての
位置を占め、役割を果たしている。

- 学生支援と福利厚生事業で、大学の最も頼りになるパートナーとしての大学生協づくりを進めます。
- 大学生協はなくてはならない存在だと大学や社会に認知され、大学には生協が必要だとの声にもとづく生協設立を全国で旺盛に推進し、近い将来に日本の過半数の大学での実現を目指して、事業活動を展開します。
- 大学のBCP（事業継続計画 Business Continuity Plan）を理解し、大学と生協との協力により事業継続性を高めていきます。前提として、すべての大学生協で経常剰余率1%実現を継続します。
- すべての大学生協で、SDGsを大学とともに推進し、大学との協働活動により「地球規模の課題解決のため」の人材育成に貢献します。
- 学生の良き理解者、学生のために「一肌脱げる」良き隣人、学生支援と福利厚生事業、勉学・研究支援、大学業務支援のプロフェッショナルとして、生協職員を計画的に育成し続けます。



SDGs 全国総会



Goal 20 生協活動の発展と積極的な広報により、
大学の魅力と価値を高めることを
推進している。

- それぞれの大学の個性に応じた学生や教職員の活動作りを旺盛に展開することで、「つながる元気、ときめきキャンパス」づくりを進めて、大学のブランディング向上に貢献します。
- 学生・院生・教職員等が参加する生協の特徴と強みを生かして、大学とさまざまなレベルで対話を進め、大学生協から積極的な提案を行い、大学運営に積極的に関与・協力します。
- 大学との相互協力のための協定書の締結をすべての大学生協で推進し、大学との信頼関係のさらなる向上を図ります。
- 協同組合間連携により、協同組合全体の価値を高め、大学に協同組合（生協）が存在する価値を示します。



大学良品 奈良女子大学生協



そだねーTシャツ 北見工業大学生協



協定書締結
京都大学・京都大学生協



Goal 19 大学運営のパートナーとして、
大学の業務を担っている。

- テキスト、デバイス、講座、研究費・校費支援など、生協で担える学修・研究活動や大学業務のサポートを、学生・院生・教職員の声を生かして実現し、大学の教育・研究活動、教職員の負担軽減に貢献します。
- 留学支援、留学生支援事業を拡大し、グローバル化に対応する大学業務を支援します。
- 大学の実情に応じて、大学のICT化・DXを生協としても関与・推進します。



リーディングスキル習得講座
新潟大学生協



2030 Vision, Goals & Action Plan